

株式会社ナガオシステム

～材料混練のスペシャリストとして、化成品分野で新たな需要を獲得～

材料混練装置技術について、大手企業の使用シーンがイメージできる提案を行い、大手企業の仕様や活用用途に合わせた実験を行うことで、大手化学メーカーと成約しました。



株式会社ナガオシステム 長尾 代表取締役

電動機、理化学機器、医療機器の製造、販売を手掛けています。独自に開発した傾斜型遊星ボールミル、3次元ボールミルを製造しています。他社と競合しないモノづくりを目指し、大学や研究機関とも積極的に連携しています。

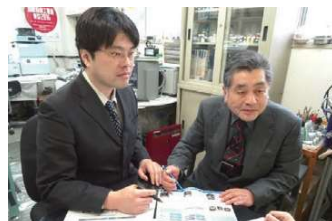
化成品、医薬品、自動車、食品分野での受注拡大を目指し、ジェグテックを活用しました。

〈使用シーンがイメージできる動画や資料を作成〉

商談会の準備では、大手企業の事前ニーズから、「どのような質問が想定されるのか」「どう提案することで製品の性能をご理解いただけるか」を考え、大手企業の課題に対応する動画や資料、冊子を事前に準備しました。大手企業での活用シーンを想定し、課題となっていることを聞き出した後、提案を行うことで、製品の特長を理解してもらうようにしました。

〈大手企業のニーズを実証し具体的に提案する〉

商談の場で、大手企業のニーズを詳しく聞いてみると、「材料の混練」に関するニーズが高いことが分かりました。大手企業の課題を確認し、実験を行い実証することで、自社の強みを伝えました。その後、大手企業の仕様や活用用途に合わせた実験を行いました。



商談の様子

中小企業 × 大手化学メーカー



化学

受注
販売
共同開発

マッチングが成約したポイント

- ① どのような質問が想定されるかを事前に検討し、使用シーンがイメージできる動画や資料を作成したこと。
- ② 大手企業のニーズを詳しく聞き、自社の技術を使って対応できることを提案したこと。
- ③ 大手企業の仕様や活用用途に合わせた実験を行ったこと。

商談後、大手企業が当社実験室を訪問し、「材料混練」の現場を確認しました。その後、打ち合わせを経て、取引が成約しました。同分野における共同開発も始動しました。

〈化成品・医薬品・自動車分野からの引き合いが増加〉

大手企業とのマッチングを経験することで、課題が少しずつ分かるようになりました。最近では、化成品、医薬品、自動車分野からの問い合わせが増えてきており、ジェグテックによる情報発信の手ごたえを感じています。

ジェグテックを活用して新しい分野へ積極的に展開していきたいと思っています。



粉碎機、混練用途の3次元ボールミルを開発



大手企業からの問い合わせが増えている
粉碎、混練用途の3次元ボールミル

ジェグテックのマッチングを振り返って

製品開発企業にとっては、市場とのコミュニケーションは非常に重要です。ジェグテックの活用により、大手企業が困っている事や課題を直接聞くことで、新しい製品開発に生かしていきたいと思っています。

- 代表取締役：長尾 文喜 ● 本社所在地：神奈川県川崎市麻生区片平1-9-30
- 電話番号：044-954-4486 ● 資本金：1,000万円 ● 従業員数：3人
- ホームページURL：http://www4.plala.or.jp/nagaosystem/

ジェグテック ナガオシステム

検索